



いしかわ労福協

第 564 号 2015年 1月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
発行責任者 狩山 久弥
編集人 上野 貞彦
〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
電話 (076) 231-1737
FAX (076) 231-1731
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行

謹賀新年



白山

©白山市観光連盟



(社)石川県労働者福祉協議会
理事長 狩山 久弥

新年あけましておめでとうございます。

2015年が皆様にとって明るく実りの多い年となるようお祈り申し上げます。

昨年中は各自治体や、労働団体、事業団体をはじめ、関係各位の皆様にご支援・ご協力を頂き、心から御礼申し上げます。

労働者福祉協議会は、戦後生活物資が極端に少なかった時代に、労働者の生活必需品をみんなで調達しようと、労働組合が生活協同組合とともに、暮らしの安定をめざし生活福祉問題を解決するために結成されました。

石川県においても、戦後の経済復興・成長とともに、労働運動として、労働金庫の創設をはじめ、消費購買、火災・生命共済、宅地開発・住宅建設など自主福祉活動を展開し、昭和38年(1963年)に石川県労働者福祉協議会を創立しました。

労福協は創立から50年が経過し、また、地域ライフ・サポートセンターも設立10年を迎え、昨年は記念事業として、記念講演会や生活困窮者救済を目的としたハンガーフリーワールドなど新しい運動にも着手してきたところです。

時代は、労福協等労働者福祉団体が培ってきた共助の輪を必要としています。「連帯と相互の支え合いという協力原理が活かされる社会、ぬくもりある思いやりの社会、人とくらし・環境に優しい福祉社会」の実現のため、関係各位の皆様のご理解とご協力をお願いし、新年の挨拶とします。

石川労福協・連合石川合同 2015 新春の集い



狩山久弥
労福協理事長

石川労福協と連合石川は、共同して1月6日(火)に金沢都ホテルにおいて2015新春の集いを開催した。集いには、労働者福祉事業団体、地域ライフ・サポートセンター、連合石川構成組織に加え、谷本正憲石川県知事や自治体首長などの来賓を交えた270名が参加し、冒頭、箏奏者グループ「釜」による「春の海」、「三つの小品(ポピー、泰山木、タンポポの組曲)」が演奏され、静かなオープニングで始まった。

狩山久弥労福協理事長(連合石川会長)は、「経済の成熟化・人口減少・格差と貧困など持続可能性を脅かすことが多い中で、政治は一部の富裕層のみに視点を当てるのではなく、社会の裾野に光を当て、働くことを重要視した政策の実現を望みたい。また、第二次世界大戦終戦後70年の節目であり、平和・民主主義・基本的人権などの普遍的価値を次代に継承することや、春闘方式が発足し60回目の2015年春季生活闘争については、経済の好循環・生活の安定に向け、石川県内の賃上げ相場の形成と波及に向けた取り組みを強化する。戦後、物の無い生活の苦しいとき、労働者の生活を守るために発足した労働者福祉協議会も50年を経過した。時代は、労福協など労働福祉



「釜」の箏の演奏

団体が培ってきた共助の輪を必要としている。労福協を軸とする事業団体、地域ライフ・サポートセンター

等とともに理念の実現に向けて取り組んでいけるよう、皆様の引き続き変わらぬご協力をお願いします。」と開会挨拶をした。

また、谷本石川県知事が「景気好転で、ものづくり企業の多い県内は、求人倍率も高く、雇用情勢が回復しつつ

ある。北陸新幹線開業を契機に更に景気回復を拡大し、新幹線開業後も継続して好影響を維持できるよう取り組んでいきたい。そして、労働者が安心して暮らせる社会づくりに皆さんとともに力を尽くしたい。」としたほか、高瀬憲一石川労働局長、山辺芳宣羽咋市長(県市長会)が労働者をはじめ県民市民が安定して生活できる社会実現に努力をするべく挨拶があった。

このほか、来賓の政党代表者の祝辞に続き粟貴章野々市市長、川口克則内灘町長からのメッセージを披露した後、浅野正石川労福協専務理事が春季生活闘争の勝利と労働者福祉向上に向けた乾杯の発声で歓談に入った。

歓談中には、仕事の傍らバリトン系ソプラノ歌手の第一人者としても活躍する連合石川青年女性(つづく)



吉田修県会議員



北尾強也弁護士



田中美絵子民主党石川副代表



谷本正憲石川県知事



高瀬憲一石川労働局長



山辺芳宣羽咋市長



近藤和也民主党石川代表



盛本芳久社民党石川連代表



乾杯

委員会の西野真理委員長による歌声が会場に響き渡り、来場者のリクエストも聞き入れながら伸びやかな歌声を披露し会場を賑わした。



西野真理委員長

南高広連合石川副会長が「来るべく春闘、統一地方選挙において、勝利できるよう労働組合員一人ひとりが力を合わせ努力



南高広連合石川副会長

していきたい。皆さんのご協力を願う。」と閉会挨拶に引き続き、狩山理事長(会長)の音頭で「団結ガンバロウ」を三唱し、2015年をスタートした。



団結ガンバロウ

第6回理事会

12月19日(金)、石川労福協第6回理事会は、フレンドパーク石川において役員10名が参加して開催された。



理事会では、役員派遣団体の事情による役員辞任を承認した後、来年度事業計画(案)、本年度予算の変更・補正、エレベーター修繕工事の発注などの各議題が協議された。

事業計画(案)については、内容を確認のうえ1月中旬に意見等集約した後、その後の理事会において修正した事業計画(案)を再提案し審議することとしたほか、エレベーター修繕工事は会館利用者の安全性向上のためと耐震対策として着手したいとの補足説明がされた後、全議案は提案どおり承認された。このほか、ライフ・サポートセンター事業関係の報告、第14回石川県大衆運動活動家合祀追悼会において新たに4名の故人を追悼したことが順次報告され理事会を終えた。

第3回LSC活性化委員会

労福協・ライフ・サポートセンターは、12月22日(月)フレンドパーク石川において、委員9名全員の参加で第3回ライフ・サポートセンター活性化委員会を開催した。



委員会進行役の浅野正労福協専務理事が、前回委員会までの調査結果のほか以後における調査結果、先週開催した第11回ライフ・サポートセンター研修会における意見を報告するとともにその対応について協議した。

ライフ・サポートセンター発足当時とは、時代は変化し、考え方にも変化が生じてきている。また、発足当時からそれぞれの地域に事情があり、県内一律とすることは難しい一面がある。労福協は指導的立場において一定方針を示すことは重要であるし、それに準じて地域も対応を

すべきでないかと思う、などの意見が出された。

今後、関係する団体が連携できれば、より一層活動は充実したものになるとの認識の下、今回の意見を整理し次回の委員会において提言整理に向けて議論を深めることを確認した。

これからの行事予定

(1月25日現在)

開催日	曜日	行 事	会 場
1月25日	日	勤文協 早春書画・生花展作品受付・審査	フレンドパーク石川
26日	月	消費者支援 NW いしかわ第4回消費者部会	県女性センター
28日	水	七鹿・羽咋 LSC・連合地協合同新春の集い	のと楽
29日	木	勤文協 早春書画・生花展(～2月1日)	金沢21世紀美術館
〃	〃	第4回LSC活性化委員会	フレンドパーク石川
〃	〃	石川県労働福祉センター理事会	労済会館
2月2日	月	労福協 第38回研究集会	〃
4日	水	北陸労金 理事・推進員合同会議	加賀市
17日	火	労福協 第6回三役会議	フレンドパーク石川
18日	水	中部労福協北陸ブロック幹事会	〃
19日	木	北陸労金 県庁支店推進委員会研修	金沢市内
24日	火	労福協 第7回理事会	フレンドパーク石川
26日	木	中部労福協 第4回代表者会議	和歌山市
3月2日	月	第11回ライフ・サポートセンター代表者会議	フレンドパーク石川
5日	木	全国会館協 平成26年度第2回幹事会(～6日)	松山市
9日	日	中央労働協 地方労福協会議(～10日)	近畿圏
11日	水	中部会館協 2014年度第3回幹事会(～12日)	岐阜市



石川県知事
谷本 正憲

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては新春をご健勝でお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から県政の推進にご理解とご協力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

3月14日の北陸新幹線金沢開業まで秒読み段階となり、長年の悲願がついに実現する記念すべき年明けです。

新幹線は、単に大量輸送機能というだけでなく、石川の潜在的な魅力を顕在化させる有効な手段であり、県下全域に開業効果を波及させ、交流人口の増加、移住・定住人口の増加など、石川の活性化に結びつけていかなければなりません。

開業効果を最大限に引き出すため、引き続き、県を挙げて誘客拡大や交流基盤の整備などに取り組んでまいります。

最近の本県経済は、鉱工業生産指数・有効求人倍率ともにリーマンショック時を超える水準で推移しておりますが、景気回復の効果が県内各地、各業種に隈なく及ぶことが重要です。

県としても、昨年策定した「石川県産業成長戦略」の柱の一つである産業人材の総合的育成・確保に向け、企業が求める質の高い人材の確保や中小企業の新卒学生の確保支援をさらに強化することとしております。

貴協議会におかれましては、就業等の各種相談への対応や仕事と育児の両立支援など、本県の労働者福祉の向上に多大なご尽力をいただいております。心から感謝申し上げますとともに、一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

この新しい年が皆様にとりまして、明るい展望の持てる年となるよう心からお祈り申し上げますとともに、県政に対する一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



石川県市長会
会長 山野 之義
(金沢市長)

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

皆様方には、常日頃から県内各市の市政推進に多大なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、経済情勢においては、一部に弱さが見られるものの、回復しつつあるとされ、雇用情勢についても、全般的には回復傾向にありました。しかし、新規求人数に占める正社員の割合が依然として低いことや、一部の業種において、深刻な人手不足が発生するなど、なかなか先が見通せない一年でありました。

こうした中、私ども県内各市では、景気・雇用対策として、緊急雇用創出事業による新たな雇用の創出を図るとともに、雇用安定のための各種奨励金の交付や若年者や女性の処遇改善に取り組むなど、様々な施策を展開してきたところであり、引き続き市民生活の安定に万全を期してまいり所存であります。

さて、県民・市民が待ち望んだ北陸新幹線金沢開業が、いよいよ本年3月14日と迫ってまいりました。私どもは、この歴史的な好機を逃さず、金沢開業を原動力にそれぞれの特色を活かしながら、魅力と活力に満ちた地域づくりに全力で取り組んでまいります。

また、地方分権時代にふさわしい、自立度が高く個性豊かで活力に満ちた市政をめざすとともに、災害に強いまちづくりをはじめとした市民生活の

安全・安心の確保や、地域経済の活性化などの課題にも引き続き鋭意取り組んでまいりたいと考えております。

新しい年が、皆様方にとりまして、明るく良い年になりますことを心からご祈念申し上げますとともに、本年も市政への一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。



ふく梅 写真提供：金沢市



石川県町長会
会 長 杉本 栄蔵
(中能登町長)

明けましておめでとうございます。

皆様方には、輝かしい平成27年の新年を清々しくお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年も、県内各町の振興発展と住民福祉の向上に決意新たに取り組みますので、力強いご支援とご協力をお願いいたします。

さて、衆議院解散・総選挙から半月。このたび発足した第3次安倍内閣には、今後の景気回復や国家財政の再建のほか、「まち・ひと・しごと創生法」成立に伴う総合戦略の策定に際し、地方創生と人口減少克服の実現に向けて、雇用創出や定住促進、結婚・子育て支援など、地域資源を活かした実効性ある施策を念願するものです。

また、本年3月には、待望の北陸新幹線の金沢開業を迎えます。県内各町においても、地域浮揚の起爆剤と期待するところですが、地域によっては、宝といえる人材と大切な資本流出の懸念もあり、これが対応として各町では、住みよく暮らしやすい魅力ある街づくりに、今後一層の創意工夫と努力が強く求められているところでもございます。

そして、そのためには、行政と地域の企業や住民の方々との連携と一層のご支援・ご協力が重要となります。石川労福協並びに関係各位におかれましても、自立する地域行政のため、安全で安心して暮らせる地域づくりのため、更なるご支援、ご鞭撻を切にお願いするものでございます。

結びに、本年が皆様方にとって健康で幸多い一年でありますよう心よりお祈りいたしまして、年頭のご挨拶といたします。



労働者福祉中央協議会
会 長 古賀 伸明

新年明けましておめでとうございます。

格差と貧困が進む中、一部の層だけが富を享受し、社会の分断を推し進めるのか、それとも、社会の裾野に光を当てて包摂的な成長をめざすのか。私たちは大きな岐路に立っています。経済的効率の追求だけでなく、社会性や人と人との絆、協同の仕組みが組み込まれた公正な社会づくりは世界共通の課題です。こうした潮流を見据えて運動を進めていきたいと思っております。

中央労福協は、今年の4月からスタートする生活困窮者自立支援制度をより良いものにするなど地域・現場での問題解決と、貧困・格差の解消や「奨学金」問題など政策・制度改善、社会運動の両面から取り組んでいきます。

労働者自主福祉事業の基盤強化についても着実に前進させていくことが必要です。「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」をめざし、労働者自主福祉運動と労働運動との連携を強固なものにし、職場に、地域に、共助の輪を広げていきましょう！



©白山市観光連盟

2015年 迎 春

(一社)石川県労働者福祉協議会

理事長 狩山 久弥

役職員一同



北陸労働金庫

石川県本部長 柚木 光

新年明けましておめでとうございます。旧年中、会員・協力団体の皆様方から賜りましたろうきん運動推進に係る格段のご尽力とご配慮に対し心より厚く感謝と御礼を申し上げる所です。また少し古い話になって恐縮ですが、会員の皆様方からの多大なご協力により、昨年3月末の前年度決算では石川地区として3年ぶりに個人融資残高の期首比増を果たすことができました。この場をお借りして重ねて御礼申し上げます。

北陸労働金庫は勤労者・生活者の暮らし応援を最大の事業目的とする唯一の福祉金融機関です。昨年4月の消費増税は勤労者・生活者にとって厳しい家計状況を招くことになり、3月までの駆け込み需要に対する反動減は想像以上のものがありました。今年度第1, 2四半期におけるGDPが各々、年率-7.1%、-1.9%となったことから景気回復は地方経済にまで波及しているとは言えない状況です。北陸ろうきんはこうした状況を踏まえ、少しでも勤労者・生活者の皆様の暮らし応援の一助になればと昨秋以降、融資金利の見直しを行ってきました。

9月からの「自動車ローン」「教育ローン」のキャンペーンは大変好評を得、これまで前年度を上回る実績を上げています。同じく10月から住宅ローンについても大幅な見直しを行い、会員の皆様からのニーズを受け、短期物(3年0.8%)をご提供するとともにその他の長期物金利も引き下げを行い、融資件数も上向いてきています。さらにこの年明けに新たに「リフォームローン」と「無担保住宅ローン」をご提供させていただき、より一層、会員の皆様のニーズに応じていく所存であります。

最後に本年「未年」が会員・協力団体の皆様方にとってさらなる飛躍の年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



大野港と白山

写真提供：金沢市



全労済石川県本部

本部長 中村 栄一

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は全労済石川ならびに石川共済の事業推進に格段のご理解とご協力を賜り、心より御礼を申し上げます。

東日本大震災から3年10ヶ月が経過しようとしていますが、全労済は今日までに被災者対応を最優先して取り組んでまいり、見舞金と共済金をあわせて34.5万件、126.1億円(2014年11月末現在)のお支払いをいたしてまいりました。未だに避難生活を強いられている方々がたくさんおられますので、一日も早い元の生活への支援をこれからも継続して取り組んでまいります。

こうした継続対応が出来るのも、構成団体や組合員の力の結集から生まれた絆の証であり、全労済の理念「みんなで助け合い、豊かで安心できる社会づくり」の実践であります。

全労済の基は、1954年に労働者共済生協が大阪で設立され、火災共済事業を開始した事から始まり、翌年以降は全国各地に拠点を拡大しながら、1957年にはそれまでに事業を開始していた18都道府県の労働者共済生協が統合して「全国労働者共済生活協同組合(全労済)」が結成されました。

全労済石川(石川共済)は1960年8月10日に設立され、全国の仲間入りしてから55年目を迎えました。この間にご指導・ご協力いただきました関係各位にあらためて感謝を申し上げます。

近年は大規模な自然災害が多発の傾向にあり、全国各地で多大な被害が出ていますが、全労済は減災・防災意識高揚の推進と併せ、火災共済発売60周年を機に大幅制度改定を実施し、『全労済のすまいる共済』として新火災共済と新自然災害共済を提供し、さらなる保障内容の充実を図ってまいります。

昨年は「こくみん共済」発売から30周年が経ち、自治労共済さんとの完全統合も実施され、全労済はより強固な経営基盤を確立し、協力団体や職域・地域の皆さまに貢献してまいります。

本年が皆様方にとりまして、ご健勝でご活躍の年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



(一財)石川県労働者信用基金協会
理事長 宮下 亮

新年明けましておめでとうございます。謹んで新年のお喜びを申し上げます。

旧年中は、石川県労働者信用基金協会に対しまして格段のご理解とご協力を賜り、心より感謝と御礼申し上げます。

さて、当協会の事業は、仮決算において新規保証実行および保証債務残高の減少にもかかわらず、北陸労働金庫の系統保証機関として、「労働者の生活支援」の事業目標に向けて役職員一丸となって取り組み、一般正味財産としてはなんとか前年と同レベルを達成することができました。

私事ではありますが、昨年6月20日の第47回定時評議員会で理事長に就任し、労働者をはじめとした個人消費が低迷し、北陸労働金庫としても融資事業が伸び悩む中で労信協の事業への影響としても非常に心配しておりましたが、一定の成果をあげることができました。今後とも北陸労働金庫はもとより関係団体との連携をはかり、事業目標達成に向けて取り組んでいきます。

本年も労働者を取り巻く環境は、円安による物価上昇や企業情勢の不安が予想され厳しさは変わらないものと思われまます。しかしながら、ネガティブな面ばかり気にしていても活力を生みません。今年の明るい話題として3月には北陸新幹線がいよいよ開通しますし、5月には小松市で第66回全国植樹祭が行われます。前向きな気持ちになり、役員と職員が同じ方向を向き、「労働者の生活支援」に様々な形で取り組んでいきます。

本年が皆様方にとりまして、ご健勝でご活躍の年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



石川県生活協同組合連合会
会長理事 横山 和男

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は石川県生活協同組合連合会に対しまして、労福協はじめ各事業団体、自治体の皆様には多大なご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当連合会は本年創立50周年という節目の年を迎えます。戦後の混乱期から高度経済成長期への過渡期の生活の困難な時期に、全国の生協の再建や設立の動きの中で県内の11の生協によって1966年12月に石川県生活協同組合連合会が創立されました。改めて先人の『志』と『想い』を再確認し、幾多の困難を乗り越え、県内の生協運動の発展に貢献していただいた方々に心より敬意と感謝を申し上げる次第です。

現在は8つの会員生協が加盟し、30万人を超す組合員の組織(体)になっています。生協連は創立以来、会員生協の発展の支援・交流、県内連帯の促進と強化に取り組み、消費者組織として消費者運動にも積極的に取り組み、物価問題・食の安全、環境や平和、くらしと福祉、災害支援など社会的役割発揮の活動をすすめてまいりました。

本年は石川県生協連50年の歴史を踏まえ、未来を展望しながら、会員生協や地域の諸団体、行政の皆様とも連携し、県民のくらしと地域に役立つ活動に積極的に取り組んでまいり所存です。本年も何卒ご理解、ご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

一般財団法人 **石川県労働者信用基金協会**

金沢市西念3丁目3番5号
TEL (076) 261-4347

恭賀新年



石川県生活協同組合連合会

金沢市古府2丁目189番
コープいしかわ古府センター2F
TEL (076) 259-5962



石川県勤労者体育協会
会 長 高 芳晴

新年あけましておめでとうございます。

皆さまには、健やかに新しい年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

本協会の事業推進に、県内自治体はじめ各競技団体、企業、労働団体、本協会役員の方々に温かいご支援とご協力を賜り、心から厚く感謝と御礼を申し上げます。

昨年のソチオリンピックのスキージャンプ競技では、レジェンドと言われた葛西紀明選手の活躍が、また、テニスの錦織圭選手の活躍も日本全体に大きな感動と勇気を与えてくれました。今年はどうのようなスポーツが脚光をあびるのか、期待したいと思っています。

さて、スポーツは実践する人には、勇気と元気を、また、見るものには、夢と感動を与えてくれます。一方、今日の高齢化社会では、私たちの生活の一部ともなっています。

本協会では、日本で唯一の勤労者のスポーツ団体という特徴を活かし、関係団体との連携を深め、誰でも気軽に参加できる大会を開催し、職域や地域に生涯スポーツの育成と普及を図ってまいります。

結びになりましたが、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



石川県勤労者文化協会
会 長 大樋 長左衛門

新年明けましておめでとうございます。

皆様方にはご清祥にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。労働者福祉協議会の皆様をはじめ、連合石川、各事業団体の皆様には日頃から勤労者文化協会へのご厚情に感謝申し上げます。

皆様のおかげをもちまして、昨年は、早春書画・生花展をはじめ写真サロン展、絵画・陶芸展、勤労者美術展を盛大に開催することができました。あらためて御礼申し上げます。とりわけ、金沢名鉄丸越エムザで開催しました第64回勤労者美術展は、アマチュアの方々の登竜門として定着し、230点もの力作が出品されました。また、石川県庁での特別展を含め、訪れた皆様は2千名を越す盛況振りでした。来場された皆様に感謝申し上げます。今後とも、石川県内における芸術・文化の裾野を広げていくために精進してまいります。

さて、北陸新幹線の開通とともに多くの関東や東北の皆様が石川県を訪れてくれることと存じます。石川県は、伝統と芸術・文化が町と一体化した古式豊かな地です。おもてなしの心を大切にして、名に恥じないよう精一杯お迎えをしたいと思っています。

勤文協は、生涯福祉の向上をめざした労福協の事業の一環として、地域貢献を意識しつつ、各種展示会を中心とした芸術・文化の向上に寄与していく所存です。

本年も勤文協にご支援ご協力を賜りますとともに、皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

種別	種目	会場	開催日時
全 県	バレーボール	金沢市総合体育館	1月10日(土)
全 県	バレーボール	金沢市総合体育館	1月11日(日)
全 県	バレーボール	金沢市総合体育館	1月12日(月)
全 県	バレーボール	金沢市総合体育館	1月13日(火)
全 県	バレーボール	金沢市総合体育館	1月14日(水)
全 県	バレーボール	金沢市総合体育館	1月15日(木)
全 県	バレーボール	金沢市総合体育館	1月16日(金)
全 県	バレーボール	金沢市総合体育館	1月17日(土)
全 県	バレーボール	金沢市総合体育館	1月18日(日)
全 県	バレーボール	金沢市総合体育館	1月19日(月)
全 県	バレーボール	金沢市総合体育館	1月20日(火)
全 県	バレーボール	金沢市総合体育館	1月21日(水)
全 県	バレーボール	金沢市総合体育館	1月22日(木)
全 県	バレーボール	金沢市総合体育館	1月23日(金)
全 県	バレーボール	金沢市総合体育館	1月24日(土)
全 県	バレーボール	金沢市総合体育館	1月25日(日)
全 県	バレーボール	金沢市総合体育館	1月26日(月)
全 県	バレーボール	金沢市総合体育館	1月27日(火)
全 県	バレーボール	金沢市総合体育館	1月28日(水)
全 県	バレーボール	金沢市総合体育館	1月29日(木)
全 県	バレーボール	金沢市総合体育館	1月30日(金)
全 県	バレーボール	金沢市総合体育館	1月31日(土)
全 県	バレーボール	金沢市総合体育館	2月1日(日)

第 45 回石川県勤労者 早春書画・生花展の ご案内

作品募集中!

開催日 2015年1月29日(木)～2月1日(日)
午前10時～午後6時(最終日 午後1時)

会場 金沢21世紀美術館 市民ギャラリーA

作品受付 1月24日(土) 午前10時～午後4時
25日(日) 午前10時～午後1時
フレンドパーク石川3Fにて

参加資格 石川県に居住もしくは勤務する勤労者および退職者とその家族(学生不可)

主催 石川県勤労者文化協会
後援 石川県労働者福祉協議会・北国新聞社



NPO法人
いしかわ介護ボランティアセンター
代表理事 澤 信俊

新年あけましておめでとうございます。

昨年末の総選挙の結果から何が読みとれるか。戦後最低の投票率であり、石川県は50%を下回った。憲法で保障された国民生活の安心・安全な社会が、メルトダウンを引き起こし始めた兆候ともいえる。多くの有権者は選挙後の社会体制が改悪されるを感じないまま、投票放棄あるいは現状維持という選択をしてしまった。

一昨年12月20日の政労使会議では、「経済の好循環実現に向けた取り組み」と題した合意文書が報告された。デフレ脱却へ経済の好循環を導くためとして、政労使が賃上げで足並みをそろえた。しかし結果は、物価上昇が賃上げを上回り、依然として実質賃金下落の傾向に歯止めが掛らなかった。株高と円安を誘導したアベノミクスは、「経済の好循環実現」という幻想をばら撒き、実物経済から掛離れたマネーゲームに浸ってしまった。結果、円の実力は実際の円相場より低く、73年の変動相場移行後最低の水準にまで落ち込んでしまった。今後、円安による国民経済の負担感は一段と重くなる。

成熟した経済社会の理想は、社会保障の充実、雇用の安定、公共職業サービスの民営化、財政の再建、規制の緩和など総合的な政策のもとで実現される。わが国でも「パートタイム労働はいかなる職種・レベル・部門でも促進する」、「フルタイム労働とパートタイム労働との差別を禁止し、平等な取扱いを行う」という国民的合意を形成し、勤労所得は共働きによって、1.0 から1.5 へ増えればいい、そして余った時間を家族や余暇などの労働以外に費やす生活優先の志向を持つ必要がある。家族と共に過ごせる時間、もっと自由になる時間が欲しいという生き方がワークライフバランスの基本観念だといえる。

NPO 法人 いしかわ介護ボランティアセンター



金沢市西念1丁目12番22号(労済会館2F)
電話(076)222-3337



日本労働組合総連合会石川県連合会
会長 狩山 久弥

新年あけましておめでとうございます。

ご家族お揃いで清々しい新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

私たち働く仲間を取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続いています。

低成長とデフレ経済という「失われた20年」の中で、企業は短期的な利益確保の重視や株主重視の姿勢を強め、賃金の低下や非正規労働者の増加、所得などの格差の拡大など、中間層の減少と格差の拡大は社会の安定成長の基盤を損なう状況を招きました。

加えて昨年末に行われた第47回衆議院選挙で自民・公明の与党が大勝したことから、働く仲間を犠牲にする労働者保護ルールの改悪の動きを強めてくることが懸念されます。

社会・経済の活力の源泉である「働くこと」の価値をそぐ政策に対して社会全体に警鐘を鳴らすと共に、これらの動きに対峙しなければなりません。

今年も「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け邁進します。

石川労福協をはじめ、各事業団体の益々のご発展を祈念するとともに、連合石川に対する変わらぬご支援とご協力をお願いし、新年のご挨拶とします。



本年も、私ども各地域ライフ・サポートセンターにご支援ご協力をいただきますようお願いします。

珠洲・能登地域LSC

会長 石平 哲巳

金沢地域LSC

会長 綿 征一

輪島・穴水地域LSC

会長 赤田 実

白山・野々市地域LSC

会長 油 省三

七尾・鹿島地域LSC

会長 角三 外弘

小松・能美地域LSC

会長 庭田 茂男

羽咋地域LSC

会長 清水 正春

加賀地域LSC

会長 山本 哲朗

河北地域LSC

会長 釜井 誠次

餅つきボランティア

さわやかU (NPO 法人いしかわ介護ボランティアセンター)は、12月20日(土)金沢市桂町の養護老人ホーム向陽苑木曳野において、年末餅つきボランティアを約20名のボランティアで開催した。



午前9時過ぎから蒸しあげたもち米を、ボランティアらが入居者の「ヨイショ、ヨイショ」の掛け声に合わせて代わる餅をつき、お正月用の御鏡や餡子もち、きな粉もちなどにした。御鏡は施設に、餡子もちなどは入居者に振る舞われ、搗き立てのお餅を美味しく頂いた。

最後に、施設から本日のボランティアに対し感謝状が贈られ、思わぬ贈り物にボランティア一同が返って感激することとなった。

地域LSC

《ケーキ作り》 河北地域ライフ・サポートセンターは、12月21日(日)かほく市内日角公民館においてクリスマスケーキ作りを22家族の参加で開催した。

この行事は、2007年に緊急サポートネットワークの地域センターの会員交流会として開催し、事業終了

後も親子ケーキ作りとして継続実施しているもの。今では募集開始前より問い合わせが多くある当LSCの人気行事となっている。



講師の加藤キッチンスタジオの加藤先生がユウモアたっぷりで見本を作った後、参加者家族が協力しあいつつ楽しくケーキを仕上げるなど、親子の触れ合いを深めるひと時となった。

河北地域LSC事務局 吉川 武久
《寄贈金贈呈》 金沢地域ライフ・サポートセンターは、毎年福祉施設に寄附金を渡しており、今年度は、12月に2ヶ所の施設に寄贈した。

1ヶ所は、社会福祉法人「陽風園」(金沢市三口新町)に“ろうきんフェスタ2014”の売上金の一部より、50,000円を、もう1ヶ所は、社会福祉法人「ゆい」(金沢市土清水)に“親睦チャリティーゴルフ”参加者からの募金27,022円をそれぞれ贈呈した。



今後も、継続して実施していきたいと思います。

金沢地域LSC 事務局長 今西十曜治

ZENROSAL NEWS



この安心を、
家族の成長とともに。

こくみん共済

個人定期生命共済・こども定期生命共済・障害定期生命共済・傷害共済・個人賠償責任共済・葬身生命共済・個人定期生命共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら



全国労働者共済生活協同組合連合会

はたらく人の生活応援バンク



<ろうきん>で
いいことがあるね!

無担保

キャンペーン期間【2015年1月5日～3月31日】

リフォームローン
発売記念
キャンペーン

いろいろなリフォームに
お使いいただけます！

マイホームの増改築・改修・模様替え
車庫の建設や外構工事全般、
太陽光発電システム設置など...

北陸ろうきん

詳しくは

※ 詳しくは最寄りの営業店またはローンセンターまでお問い合わせください。

